

みやもり荘だより

～社会福祉法人ともり会 経営理念～

『尊厳』『自立』『信愛』

〒028-0304 岩手県遠野市宮守町下宮守28-19-1

特別養護老人ホーム みやもり荘

TEL:0198-67-2266 FAX:0198-67-2267

☆ホームページアドレス <http://tomori-kai.jp/>

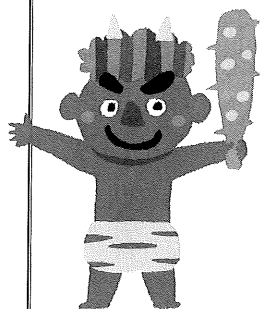


鬼は外、福は内

2月20日(木) 鬼の衣装を着た職員に向け、入居者の皆さんが大きな声を出して「鬼は外お〜」と豆(甘納豆)をぶつけました。

節分と言えば、ビリビリと冷える時期、キーンと冷えた座敷に入ると身震いしながら豆をまいた記憶があります。入居者の皆さんが生活する空間は暖かく、一定の温度を保っており、記憶は遠い昔の出来事になっていますが、季節行事は必ずやってきます。

やや迫力に欠ける鬼だったため、入居者の皆さん、遠慮しながら狙いを定めていました。豆(甘納豆)はそのあと、皆さんの口に入っています。



新年度あいさつ

令和7年度の方針等

社会福祉法人ともり会

理事長 遊田 啓悦

今年は寒さが速めに来て、大変な冬になると思われましたが、除雪もたいしたこともなく、ほっとしたことを思います。

みやもり荘・高館の園とも新型コロナウイルスの影響がほとんどなく、安心していたところ年度末3月にみやもり荘では職員と利用者12名程度の感染があり、面会等を控えていただきました。風邪のような症状ですが検査すると感染していました。早めの収束を図ります。

大船渡市で2月末に発生した大規模森林火災にあたり、自主避難に対応して同市の特別養護老人ホームさんりくの園からみやもり荘に4名、吉浜荘から高館の園に8名の方を受け入れました。鎮圧発表後の3月11日まで滞在されました。福祉施設として、災害には相互援助が必要だとを痛感させられました。今後も災害時には協力してまいります。

さて、令和6年度大幅な賃金の改善を行いましたので、令和7年度はパート職員の時給を54円引上げ、1006円とします。これに伴い、非常勤職員賃金も引き上げとなります。職員に占めるパート職員の割合が4割となっていることから、

ら、次年度以降も引き上げを図りたいと考えています。

人材確保は引き続き厳しい状況ですが、派遣業者からの情報により人材確保等を進めており、看護師の確保に一定の成果を得ています。今後も情報収集を図りながら、人材確保を図ってまいります。「釜石道」の開通もあつて、市外からの問い合わせも多くなつており、宿舎等を含めた環境整備も再構築する必要があると考えております。

今年度の課題は、「みやもり荘」においては、床暖房設備を廃止し、外枠窓の断熱性を高める改修を行います。「高館の園」においては、開設以来更新していない調理部門の機器設備更新と建物の長寿命化の体力度調査を実施します。これにより、建物本体が鉄骨構造で劣化がないという結果となれば計画的な内部修繕を今後順次進めることとなります。

「高館の園」では昨年度から調理部門の民間委託を検討しておりますが、受け手となる業者等を拡大調査して、完全委託に移行できるか検討に入っています。法人全体として調理部門の検討も視野に体制整備を考えていかなければと考えています。

さらに、利用者の減少もあり今年度からデイサービスセンターの運営方式を地域密着型通所介護事業所に移行したいと考えています。安定

的な運営費確保を図ることができそうですが、若干の利用料の値上げが生じますので、利用者とその家族の方々に早急に意向調査を実施して取り組みます。

今年度は、事務的な部門を外委託して、事務の効率化を図るため社会保険労務士、税理士に事務の一部委託を実施します。これにより、継続的な事務軽減と継続性を確保してまいります。導入している人事・財務管理システムを活用して、的確な経営指標を把握しながら運営を進めてまいります。

今年度も、「居宅介護支援事業所宮守」「まるごと相談員」に職員3名を出向させて宮守地区の福祉活動を支えていきます。さらに、令和6年1月に開所した障がい者相談支援事業所「サポートみやもりの里」も宮守健康管理センターに一体同居していますので、今後も遠野市社会福祉協議会と連携しながら、宮守地区を中心とした高齢者、障がい者の「総合福祉相談の拠点」として活動を継続してまいります。このことにより、宮守地区の福祉向上に努めてまいります。総体的に人材確保が厳しい状況にあります。皆様からの人材紹介等ご協力をお願い申し上げます。

これからも宮守地区の福祉のため、頑張ることを申し添え新年度のあいさついたします。

大船渡山林火災で避難者受入れ

山林火災が発生

2月26日（水）午後1時過ぎに発生した山火事。空気の乾燥も相まってみるみるうちに延焼し、延焼範囲はどんどん広まっていきました。火災現場近隣に住む地域住民に対し、避難指示が発令され、ただ事ではない事態が迫っていると感じました。

避難者の受け入れ

3月1日（土）「さんりくの園（三陸町越喜来）」に電話し、避難者が施設に避難していることから、必要な物資を確認し搬送を行っています。2日（日）、山林火災の勢いは衰えることがないことから、さんりくの園は自主避難を判断しました。当施設に避難者の受け入れ要請がありましたので、すぐ受け入れ準備を行い男性1名、女性3名の受け入れをするため迎えに行きました。「どこさ連れ

でぐんだ」、「はあ、遠野ど書であつから、ここは遠野だな」、「おら、来たごにやあな」みやもり荘に向かう車中での会話です。

慣れない環境での生活

さんりくの園職員が交代で付添すると申し出ましたが、数か所に散らばって避難しているため断りました。

当然生活している環境が違うので、戸惑いも随分あったことと思います。沿岸に比べると暖かさはずいぶん違うことから、「寒くないですか」と聞きながら過ごしてもらいました。体調変化がなかったことが救いです。施設でも心配していることでしょうか、状態報告は毎日メールで送信していました。

3月9日（日）夕方、大船渡市は山林火災の鎮圧を発表したことから、3月11日（火）4名の避難者は、さんりくの園に帰って行きました。

考察

自主避難という判断でした。日中に移動する判断は適切でした。沿岸ブロック会長（心生苑）が中心となり、受け入れ先を探してくれたようで、東日本大震災を体験したことがいざというときに生きていると感じました。

災害は他人ごとではない。いざ自分たちが当事者であった場合、どのように対処すべきか日々の出来事に加え、定期的に行っている避難・災害訓練を基本として行っていくことが重要だと感じました。受け入れてくれた、現場の皆さんには感謝いたします。

被害にあわれた皆様には、心からお見舞い申し上げます。早く、普段の生活に戻れますように。

コロナが猛威を奮う

感染発覚

3月5日（水）、職員が感染したと報告がありました。一定の期間自宅待機し出勤しましたが、11日（火）、新たに職員が感染し、その後次々と入居者に感染しました。

感染対策開始

14日（金）感染者の部屋（隔離）と非感染者の部屋を分け、感染が拡大しないようにしています。以前の感染が拡大した時と同様に、感染者の部屋に入る場合は、ガウン、フェースシールドを身に付け介助にあたりました。

15日（土）には、新たに入居者2名、職員2名が陽性となり、21日（金）には入居者9名、職員4名の合計13名と感染が拡大しています。23日（日）、24日（月）と続けて職員の感染報告がありました。

以後、入居者の感染が増えなかったの
で安心していましたが、27日（木）新た
に入居者1名感染し、4月1日（火）現在
入居者1名、職員1名となり、収束の目
途が見えてきました。感染した入居者は
9名、職員が10名でした。

症状は、のどの痛み、咳、痰の絡みが
あり、特徴として複数回感染していた場
合は回復が速く、初回の感染ですと検査
で陰性と確認するまで10日弱を費やす場
合がありました。

隔離後の対応

施設全体（ユニット館除く）を感染者
の部屋と非感染者の部屋に分けました
が、食事は自分の部屋で食べるなど、日
常生活範囲が限られたものとなっていま
す。

従い、機能が低下している方もいるこ
とを想定し、生活機能維持を図る訓練等
を行う必要があります。

感染対策に油断は禁物

コロナウイルスは第5類になったもの
の、コロナ感染が消えたという報道はあ
りません。コロナを排除するのではなく、
受入れながら生活していかなくてはなら
ず、インフルエンザ同様にコロナウイル
ス予防接種も行いますが、コロナウイル
スそのものの変異に我々人間がついてい
けないのが現状のようです。

普段通り生活していても、症状のない
感染源があちこちに潜んでいる場合は防
ぎようがありません。「手洗い」、「うが
い」、「消毒」は今後も継続して行いつつ、
少しでも体調に変化があった場合は、遠
慮せず周りの人に報告することが大事で
す。

感染を拡大しないようにと、懸命に業
務した職員の皆さんに感謝申し上げます。
ご苦勞様でした。

地震避難訓練(ホーム・ユニット)

3.11あの日を忘れない



あの日を忘れない

3月11日(火)「あの日を忘れない」として、毎年震災が起こった日には、避難訓練と炊出し訓練を行っています。電気・水道等のライフラインが止まり、突然当たり前の暮らしができなくなつた場合、どうすべきかという判断をしなければなりません。日頃の訓練が生きてきます。

入居者の皆様にもおにぎり作りに参加していただきました。当施設の厨房は、オール電化であり停電した場合は全く機能しなくなります。万が一を想定し、ガスが使えねるようにしていますことから、土鍋でご飯を炊いています。

入居者の皆さん、お決まり事ですが、自分でにぎつたおにぎりは食べていいことにしていますので、塩おにぎりをおいしく食べていました。

デイサービス センターだより

令和7年3月末現在登録状況

宮 守 地区 31 名

鱒 沢 地区 21 名

達曽部 地区 14 名

合 計 66 名

桃の節句



お抹茶、どんな味かな



手作りおひな様と一緒にニコッ!!



おいしい〜 結構なお点前でした



おすまし顔の二人



りりしく、男のひなまつり

2月24日から3月1日まで、桃の節句の行事を行いました。昼食は行事食として、「ちらし寿司」が提供されました。

今年のお茶会でも羽織を着てもらい、ひな人形の前で写真を撮りました。女性には、少し紅を引くと「久しぶりに化粧した」とはにかなりました。

職員が点てた抹茶と桜餅を食べてもらいました。来年もお茶会を楽しみにしているという声が聞かれ、1年後が待ち遠しいと感じています。

生きがい交流会



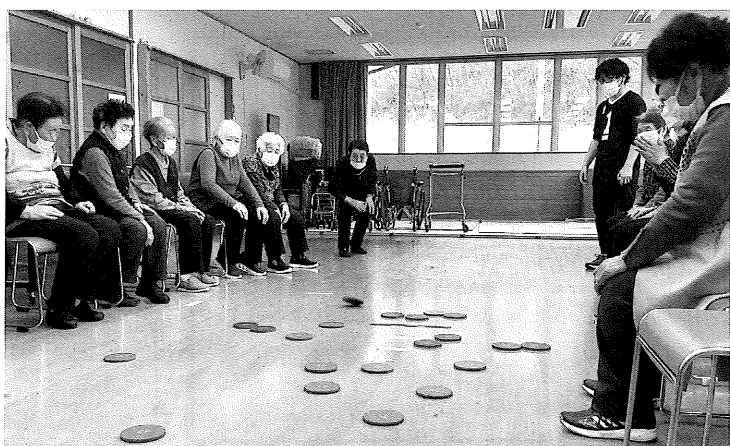
思いでカルタ（歌謡曲）棒でさします



ニユースポーツ
デイスコン
一定の的にデイスクをよ
り多く集めるゲーム

合同交流会

生きがい支援通所事業（宮守地区）は、AチームとBチームの2班に分かれて活動しています。今まで活動してきた中で、合同で活動してきたことがなかったことから、今回初めての交流会を3月6日（木）に行いました。13名参加しています。



社会福祉法人ともし会の動き その 159

○2月23日（日）障がい者支援施設高館の園 30 周年記念式典及び祝賀会

○3月31日（月）退職者辞令交付式

○令和7年3月21日（金）、社会福祉法人ともし会第5回理事会を開催し、次の通り議決されました。

- ・社会福祉法人ともし会施設整備等積立金の積み立てについて
- ・令和6年度社会福祉法人ともし会第4回資金収支補正予算の承認について
- ・社会福祉法人ともし会給与規定の一部改正について
- ・社会福祉法人ともし会準職員等の給与取扱規程の一部改正について
- ・社会福祉法人ともし会役員賠償保険の加入及び保険料負担について
- ・社会福祉法人ともし会事業計画の承認について
- ・社会福祉法人ともし会資金収支予算及び予備費形状の承認について
- ・通所介護事業所（みやもり荘デイサービスセンター）から地域密着型通所介護事業所への変更について

あたたかい おこころざし

3月22日（土）菊池好子 様

ほうれん草

3月31日（月）遠野商工会婦人部

タオル・

（宮守地区）様

ティッシュペーパー



配食サービス利用者募集

みやもり荘の厨房で作った配食弁当、ボランティアさんが交代で火曜日と金曜日に配達しています。栄養面を考慮して施設の栄養士が献立を考え、調理員がお弁当を作っています。配食サービスには、栄養面をカバーすることの他に、配達しながら利用者の安否を確認するという大切な役割も担っています。

地域で安心して暮らすための一つの手段です。配食サービスを利用してみませんか。



4月1日（火）に配達されたお弁当です

編集後記

コロナの猛威に襲われました。新年度に入り、勢いは衰えてきました。今回蔓延したコロナの感染力は非常に強く、あっという間に広がってしまいました。まだまだ油断はできません。（多田 浩）

職員募集

みやもり荘では、職員を募集しています。介護員、食事パートを募集しています。一緒に働いてみたいと思う方は、下記の連絡先まで電話してください。

電話：0198-67-2266

担当：多田 浩